

ガタ高演劇部は去る5月5日に苫小牧市文化会館で行われた「黒岩真美presents The15th TOM AKOMAI MUSIC FESTIVAL」にゲストとして招待され、第2部の〈苫小牧市文化会館の歴史を吹奏楽×歌×ダンスで辿る〉の脚本を作成し、井村誠貴氏の指揮で、同じくゲストの生田瑚桃さんと歌って踊って文化会館への感謝を込めたステージを盛り上げることができました。

素晴らしい機会を与えていただいた黒岩真美さんと、プロとしてオペラやミュージカルの経験が豊富な指揮者の井村誠貴さんには、音楽とのフュージョンの仕方や発声法、役者の位置取りなど、演劇の枠とは異なる視点からたくさんのご指導をいただきました。多くの学びを得たこと、今までにない経験を積むことができたこと、多くの皆様に私たちのことを知っていただけたこと。素晴らしいギフトを私たちに授けてくださったみなさまに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

当日は500席のホールがほぼ満員となり、多くの皆様にご観劇いただきました。また、開場前や閉演後に、私たちの〈かがわ総文祭〉出場に対して、多くの皆様からたくさんのお言葉とご厚志をちょうだいいたしました。改めましてご来場いただき、また応援いただきました皆様のお気持ちに感謝申し上げます。ありがとうございました。

ガタ高演劇部では引き続き7月の〈かがわ総文祭〉へ向けて、よりよいパフォーマンスを発揮できるよう一層精進していきます。今後とも、皆様からのご理解ご協力とご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。



苫小牧市文化会館 ホール及びエントランスでの一コマ

ガタ高演劇部です。ご報告が遅くなりましたことを最初にお詫び申し上げます。

ガタ高演劇部は去る1月8日にかでるアスビックホールで行われた「かでの演劇フェスティバル2025 北海道高校Special Day」にて、第74回全道高等学校演劇発表大会〈小樽大会〉最優秀作品「やっぱり、こっちがいい」(作・晴山能)の上演を終えました。

当日は300席のホールがほぼ満員となり、多くのお客様にご観劇いただきました。誠にありがとうございます。また、多くの方にアンケートにお答えいただき様々なご教示をいただきました。さらにさらに、より多くの皆様からたくさんのご厚志をお預かりいたしました。改めましてご来場いただき、また応援いただきました皆様のお気持ちに感謝申し上げます。ありがとうございました。

ガタ高演劇部では引き続き7月の香川総文へ向けて、よりよいパフォーマンスを発揮できるよう一層精進していきます。今後とも、皆様からのご理解ご協力とご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。



かでのアスビックホール音響席より舞台方面



ガタ高演劇部です。ガタ高演劇部は去る11月15日から18日に行われた、「第74回全道高等学校演劇発表大会」〈小樽大会〉において、「やっぱり、こっちがいい」(作・晴山能)を上演し、最優秀賞を受賞しました。これにより、来る令和7年7月に行われる、「第49回全国高等学校総合文化祭〈香川大会〉」への出場を推薦されました。

これもひとえに、ガタ高演劇部の活動にご理解とご協力をいただいた皆さんあってとおもっております。香川大会でガタ高演劇部の名を更に高めるため、今後もより一層努力を重ねていく所存です。今後とも、皆様からのご理解ご協力とご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。



苫小牧支部大会フライヤー 表



苫小牧支部大会フライヤー 裏



小樽大会上演の一コマ



小樽大会上演直後集合写真